



## ビッグデータの高度な活用に向け「データソリューション室」を新設

2018年6月5日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、2018年6月1日付けでデータソリューション室を新設しました。

当社は2015年に買収した英国 Box Innovation Group 社において、64億kmのテレマティクス走行データとそれに付随する事故データを持ち、また日本・欧州・米国・アジアの世界4極で進めているテレマティクス事業においても日々テレマティクスデータが蓄積されており、その量は業界トップレベルにあります。デジタル社会の本格到来によるお客さまニーズやマーケットの変化に迅速に対応し、特色あるビジネスモデルを構築するため、当社の持つビッグデータ資源を活用し、先進的なソリューションを提供することを目的としてデータソリューション室を新たに設置することとしました。

データソリューション室は、現場へのデータサイエンス活用の推進を主たる業務とし、それに加え、日本国内においては、滋賀大学との産学連携による共同研究やデータサイエンティスト<sup>※1</sup>の育成をはじめ、社外関連団体や提携各社との取り組みを深化させていきます。また欧州・米国・アジアの当社グループ各社の専門人財とも連携することで、当社はデータサイエンス分野における知見をグローバルに展開していきます。当初メンバーはデータサイエンティスト<sup>※1</sup>など専門人財を中心に10名規模でスタートしますが、今後専門人財の採用と育成により体制を拡大していきます。

当社は、今後環境の変化に迅速に対応していきながら、ビッグデータの高度な活用のさらなる促進、新たな付加価値創造と安心・安全な社会の構築に貢献していきます。

※1 データサイエンティスト…データサイエンス力、データエンジニアリング力をベースにデータから価値を創出し、ビジネス(社会に役立つ意味のある活動全般を指す)課題に答えを出すプロフェッショナル

以上